

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 612 号
2012年6月1日
発行
アスカ工業株式会社
〒445-0073
西尾市奇住町泡原50

中畑新工場操業開始

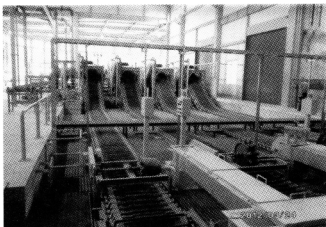
6月11日より

3月24日に中畑新工場の竣工記念祝賀会を挙げて以降、着々附帯設備の充実と整備が進み、5月に入って試運転が行われてきた。

同時に、原料の荷受、集積が順調に進行して、いよいよ来る6月11日（月曜日）から待望の本格操業のはこびになった。

平成22年12月の工事安全祈願祭で工事がスタートして以降、1年数ヶ月の短時間でこのような大工事が無事に完工できたことは幸運であり、土木、建築、造園、機械設備などすべての施工業者の各位に衷心の謝意を表したい。

右写真は新工場の連鋳設備。



工場移転の御案内

6月11日（月曜日）より、中畑工場へ移転して創業を開始いたします。予め御案内を申し上げます。

住 所 444-0303 西尾市中畑町卯新田上28
(中畑橋 西尾市側南)

電 話 代 表 0563-77-0500 somu@al-asuka.jp
F A X 0563-77-0501

販売課 0563-77-0502 hanbai@al-asuka.jp
購買課 0563-77-0503 kobai@al-asuka.jp
総務部 0563-77-0504 keiri@al-asuka.jp
生産課 seisan@al-asuka.jp

ホームページ <http://www.al-asuka.jp/>

2011年度 アルミニウム2次地金・合金生産 2年ぶり減・生産76万トン

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は、このほど2011年度（2011年4月から2012年3月まで）のアルミニウム2次地金合金地金の生産実績を発表した。

これによれば、2011年度のアルミニウム2次地金・合金地金の総生産実績は759,807トンで前年比マイナス6.1パーセント、出荷は766,539トンで前年比マイナス6.1パーセントとなった。

当年度は東日本大震災の発生とタイの大洪水の影響で急激な需要の減退に見舞われたことで、生産・出荷とも2年ぶりのマイナスを記録した。

2007年度に記録したピークに比べると、生産は68.2パーセント、出荷は68.4パーセントにとどまる。

産業部門別出荷は、鉄鋼向けを除く全部門が前年水準を下廻った。主力のダイカストと鋳物向けは2年ぶりのマイナス。震災によるサプライチェーンの崩壊で自動車部品メーカーなどが納品キャンセルや延期の緊急措置を取った影響で4月から8月にかけて生産・出荷が急減した。

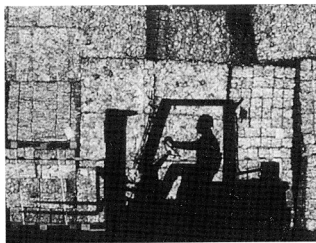
押し出し向けは需要家の国内生産スリム化や海外移転の加速などによって、2005年度以来7年連続の前年比マイナスとなった。

一方、脱酸剤などの鉄鋼向けは、自動車生産が回復した8月から5ヶ月連続して前年同月比プラスを記録する好調を示し、3年連続のプラスとなった。

2011年度アルミ2次地金・合金の生産と出荷

(単位：トン、カッコ内は前年比パーセント)

総	生 産 量	759,807 (93.9)
総	出 荷 量	766,539 (93.9)
部 門 別 出 荷 量	ダ イ カ ス ト	429,976 (93.7)
	鋳 物	202,100 (93.2)
	圧 延	58,295 (96.1)
	押 出	19,803 (85.7)
	鉄 鋼	31,932 (103.8)
	合 金 メ ー カ ー 向	24,427 (94.5)
	輸 出	6 (3.0)



アルミ缶リサイクリング シーズン・イン

ゴールデン・ウィークを終わって気温の高くなるのにつれて、ビールを始め各種飲料のアルミニウム缶の消費のピークを迎える。

例年6月から10月までアルミニウム缶リサイクルの繁忙期となるが、本年も新種ビールの発売や、輸入ビールの増販で大量のアルミニウム缶の需要が期待されている。

新工場では合理的なりサイクルシステムを整えて大量処理に臨んでいる。(写真・アルミ缶)

時の話題

電気は
あるのか ないのか

東京電力の原子力発電所の事故以降、夏冬のピーク時電力の供給不安問題が起きる。果して本当に電気は足りないのか？

此処に中部電力が震災前に公表した数字がある。

	設備	稼働
水力	19	9
石油	15	4
LNG	41	42
石炭	13	23
原子力	12	21
新エネ	—	1
合計	100%	100%
	(3,600億kWh)	(1,800億kWh)

中部電力では原子力が無くても十分のようだが、燃料代の負擔の重い石油に頼ると料金に大きな影響が出そうだ。一方で水力の稼働率が低いのは不思議だ。設備が老朽化しているのだろうか。



アルミ缶の
タブだけを切り取って
集めるのはやめましょう！

タブを切り取るのは
指を傷つける
などして危険です

アルミニウム合金協会
第38回通常総会開催

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は5月16日東京虎ノ門の霞山会館で第38回通常総会が開催された。役員の変更で、新会長には浜村承三氏（日経エムシーアルミ株式会社社長）が選任され、浜村新会長は就任挨拶で次のように述べた。

本年度も統計調査事業、技術研究調査事業、普及啓発事業の3本の柱に注力する。特に技術継承に関しては隔年開催の溶解技術者検定などに特段の努力を向けたい。

また、アスカ工業株式会社天野卓社長は常任理事に再任した。

総会後の懇親会には協会の会員はじめ商社、経済産業省など百数十名が参集して盛会に挙行、来賓代表として登壇した経済産業省の星野岳穂非鉄金属課長は、インドネシアの新鉱業法やレアメタルの輸出制限

など新興国による資源政策に変化が起きつつある。当業界については、添加金属の銅、ニッケル、マグネシウムなどの資源調達が将来的に難しくなることが予想される。

今後の金属リサイクルの重要性の一段と増す中で添加材料の削減など新技術確立の必要がある。皆様と力を併せて将来の素材戦略を構築したい。

と語った。尚この総会の席上で故高橋愛次氏（アールスティの創業社長）のご遺志で創設された、優秀従業員に贈られる高橋記念賞を戸松智洋君（写真）が目出たく受賞した。





仁吉まつり 6月3日源徳寺

義理と人情の世界に生きた男、吉良の仁吉をしのぶ「仁吉まつり」が6月3日（日曜日）西尾市吉良町上横須賀の源徳寺で催される。吉良音頭の総おどりはじめ地元物産展など多くのイベントが企画されている。

吉良の仁吉は江戸末期、伊勢の荒神山の決闘で穴太徳（あろうとく）と戦い、勝利を取めたものの銃弾を受けて死亡、28才であった。

多勢に無勢の不利の戦いをあえて買って出た背景は、一宿一飯の恩人神戸（かんべ）の長吉への熱い仁侠の心意気と伝えられ、源徳寺の墓は清水の次郎長により建立された。

源徳寺は名鉄西尾線上横須賀（かみよこすか）下車徒歩数分。左の立像は吉良図書館所蔵の吉良の仁吉。

社内情報

- ◎原料納入と製品出荷に、交通規制で永らくご不便をお掛け致しました。新工場移転で規制が終了しました。
- ◎6月1日、岩田好松君（生産課）の退職送別会が「だるま」で盛大に開催されました。
- ◎岩田好松君は昭和38年3月入社、勤続49年の最古参、大へんご苦労様でした。華道展の出品や、俳画の個展開催など趣味の分野の実績も多く、今後この分野での活躍が期待されます。

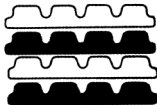
編集後記

- アルミニウム合金協会発表の2011年度総生産は前年に比べ6.1パーセントの減少でした。大震災とタイ洪水の深刻な影響をよく此処まで挽回できたと感じます。
- 本年度は往年の生産100万トン台回復を大きく期待するところですが、前途に南ヨーロッパの根深い信用不安問題が大きく立ちはだかつており、予断を許しません。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガ、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒445-0073

本社 愛知県西尾市寄住町泡原50番地
TEL <0563> 代表57-5145番
FAX <0563> 57-0546番
<http://www.al-asuka.jp/>